

第105期

事業のご報告

ミニディスクロージャー

自・令和4年4月1日～至・令和5年3月31日



あなたの未来へ こうしんと



甲府信用金庫



皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より甲府信用金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫は、産業組合法に基づく「甲府信用組合」として大正7年に創業し、以来、昭和、平成、令和と4つの時代にわたり、地域社会の発展とともに今日の営業基盤を築いてまいりました。これもひとえに、皆さまの温かいご理解と格別のご支援の賜物と深く感謝いたします。

ここに第105期の事業概況と決算内容を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

令和4年度の県内経済は、コロナ禍の影響を受けながらも、ウィズコロナの浸透により着実に正常化への歩みを進めてまいりました。一方で当金庫の主要な取引先である中小事業者においては、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇が経営にとって大きな足かせとなる状況が続いています。また、欧米では度重なる金融引き締めによる景気後退の可能性も予見されており、外需の下振れリスクによる国内景気への影響も懸念されるところです。

このような経済環境下、当金庫では、創業の精神である「地元との共存共栄」の実践に努めてまいりました。

預金の期末残高は5,236億円、貸出金の期末残高は2,174億円となり、ともに順調に増加しました。また、経常収益は63億84百万円、本業の収益力を示すコア業務純益は16億11百万円、当期純利益は11億61百万円と2期連続で増収増益の結果となり、経営の健全性を示す自己資本比率も0.98ポイント上昇し、17.83%と高い水準を維持しております。

令和5年度も先行きに対する不透明感は継続するものの、新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更を契機に、経済活動の再開に向けた動きは加速していくものと考えられます。

そうしたなか、地域の皆さまの様々な課題に正面から向き合い、地域社会の明るい未来づくりのお役にたてますよう、役職員一丸となって業務に取り組んでいく所存です。

皆さまには、何卒より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

理事長 **小田切 繁**

あなたの未来へ

こうしんと!

With KOUSHINI

～地域と共に未来へ歩み続ける
『こうしん』を目指して～

創業の精神

「地元との共存共栄」

基本理念

1. 地元中小企業の健全な発展
2. 豊かな県民生活の実現
3. 地域社会繁栄への奉仕

甲府信用金庫の概要

本店	甲府市丸の内2丁目33番1号
TEL	055-222-0231 (代表)
創立	大正7年5月4日
会員数	33,732人
出資金	1,656百万円
役職員数	315人
店舗数	21店舗

(令和5年3月31日現在)



『武田の信ちゃん』

業績の推移

預金・貸出金について

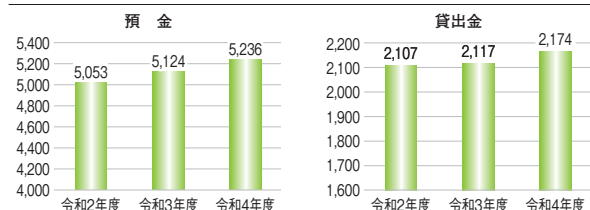
預金は、個人預金を中心に順調に増加し、前期比111億円増加の5,236億円、期末残高としては前年度に続き、過去最高を更新しました。

貸出金は「コロナ関連融資」をはじめとする、法人向け融資を中心に前期比57億円増加の2,174億円となりました。

今後とも地域経済の発展に貢献するよう様々な取り組みを行ってまいります。

預金・貸出金の推移

単位：億円



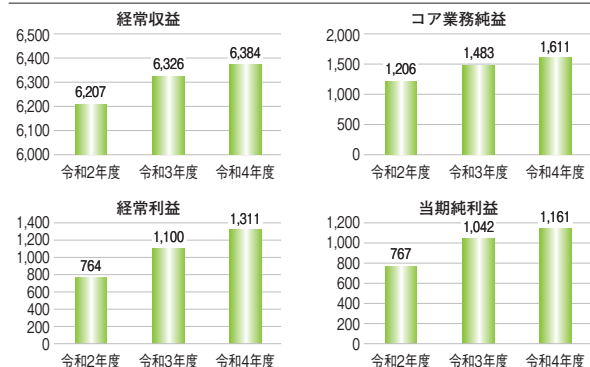
収益について

令和4年度の収益は、経常収益63億円、コア業務純益16億円、経常利益13億円、当期純利益11億円と前期比で増収増益となりました。

引き続き、安定的な収益を確保し、経営基盤の強化に努めてまいります。

収益の推移

単位：百万円



(注) 本ページ以降に記載の数値は、単位未満の端数を切り捨てて表示しているため、合計値や増減額が一致していない場合があります。

貸出金の業種別の状況

特定のお取引先や業種に偏ることなく、事業者や個人のお客さまなど、幅広く地域の皆さまにご利用いただいております。

貸出金業種別内訳

(単位：百万円)

業種区分	令和4年3月末		令和5年3月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	15,427	7.2%	17,496	8.0%
農業・林業	245	0.1%	217	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	293	0.1%	322	0.1%
建設業	17,076	8.0%	18,165	8.3%
電気、ガス、熱供給、水道業	4,703	2.2%	4,259	1.9%
情報通信業	747	0.3%	811	0.3%
運輸業、郵便業	4,614	2.1%	4,613	2.1%
卸売業、小売業	28,660	13.5%	31,584	14.5%
金融業、保険業	12,106	5.7%	12,155	5.5%
不動産業	13,776	6.5%	13,686	6.2%
物品賃貸業	641	0.3%	835	0.3%
学術研究、専門・技術サービス業	1,956	0.9%	1,885	0.8%
宿泊業	1,925	0.9%	1,676	0.7%
飲食業	4,474	2.1%	4,450	2.0%
生活関連サービス業、娯楽業	4,241	2.0%	4,409	2.0%
教育、学習支援業	280	0.1%	275	0.1%
医療、福祉	9,178	4.3%	9,369	4.3%
その他のサービス	5,953	2.8%	6,021	2.7%
地方公共団体	26,821	12.6%	26,376	12.1%
個人	58,596	27.6%	58,859	27.0%
合計	211,722	100.0%	217,471	100.0%

(注)業種区分は、日本標準産業大分類に準じて記載しています。

有価証券の状況

有価証券は、安全性や流動性、収益性に留意し運用を行っております。

有価証券残高構成

(単位：億円)

	令和5年3月末	
	残高	構成比
国債	228	15.5%
地方債	225	15.4%
社債	858	58.6%
外国証券	54	3.7%
株式	0	0.0%
その他証券	96	6.6%
合計	1,464	100.0%

有価証券時価

(単位：億円)

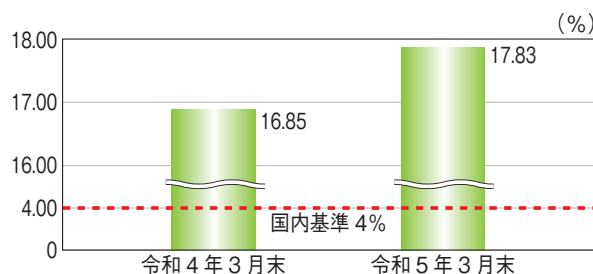
	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	1,238	1,199	-39
満期保有目的の債券	264	276	11
合計	1,503	1,475	-28

自己資本比率

(単位：百万円)

項目	令和5年3月末
(1) コア資本にかかる基礎項目	30,003
普通出資または非累積的永久優先出資にかかる会員勘定の額	28,886
うち 出資金および資本剰余金の額	1,656
うち 利益剰余金の額	27,329
コア資本にかかる基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,117
うち 一般貸倒引当金コア資本算入額	1,117
(2) コア資本にかかる調整項目(控除項目)	539
無形固定資産の額の合計額	72
繰延税金資産の額	50
前払年金費用の額	416

$$\frac{\text{自己資本の額 (1) - (2)} \quad 29,464 \text{ (分子)}}{\text{(3) リスク・アセット等} \quad 165,225 \text{ (分母)}} \times 100 = 17.83\%$$



金融再生法債権の状況

当金庫は、資産の健全性を維持するため、厳格な自己査定に基づき、適正に償却・引当を行っています。金融再生法に定められた開示債権は下記の表のとおりですが、それぞれ担保・保証および引当金でカバーすることにより、資産の健全性は引き続き維持されています。

金融再生法開示債権 (単位：金額百万円)

区分	令和3年度	令和4年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ①	4,489	5,146
危険債権 ②	3,042	4,054
要管理債権 ③	1,469	1,405
うち3か月以上延滞債権	—	—
うち貸出条件緩和債権	1,469	1,405
正常債権 ④	203,395	207,515
合計 ⑤	212,396	218,120
金融再生法上の不良債権計 ⑥=①+②+③	9,001	10,605
総与信に対する割合 ⑥÷⑤×100	4.23%	4.86%

金融再生法上の不良債権に対する保全状況

項目	令和3年度	令和4年度
貸倒引当金 ⑦	2,945	3,395
担保・保証等による回収見込額 ⑧	5,252	6,411
保全額 ⑨=⑦+⑧	8,198	9,807
保全率 ⑨÷⑥×100	91.07%	92.47%
担保・保証等控除後債権に対する引当率 ⑦÷(⑥-⑧)×100	78.57%	80.96%

(注) 貸倒引当金は、個別貸倒引当金および要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

出資金の状況

普通出資

普通出資1口の金額 50円

普通出資者の出資の最低限度額 5,000円 (令和4年度末)

区分	出資者数(人)	出資金額(百万円)	処分未済持分(百万円)
個人	28,974	1,336	49
法人	4,758	320	18
合計	33,732	1,656	68

店舗・役職員の状況

項目	令和3年度末	令和4年度末
役職員数(人)	336	315
店舗数(店)	23	21
店外ATM(カ所)	23	25

(注) 店外ATMには、山梨信用金庫が主幹事のATMを含みます。
(令和3年度3カ所 令和4年度3カ所)

庶務の概要

1. 総代会

令和4年6月27日、常磐ホテル富士の間において第104期通常総代会を開催し、下記議案が原案どおり承認可決されました。

報告事項

第104期 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)
業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
出資証券のペーパーレス化 (不発行) の件

決議事項

第1号議案 第104期剰余金処分案承認の件
第2号議案 会員除名の件

第3号議案 信託金庫法第17条 (法定脱退) および定款第15条第1号により会員11先、第2号により会員39先を除名しました。
定款の一部変更の件

(1) 事務所の所在地について
店舗統廃合に伴い、山梨南支店、藤井支店の事務所の所在地、定款第4条 (事務所の所在地) 別表2を変更しました。

(2) 総代会および理事会において、書面決議を可能とするための変更について
定款第9条 (議決権の代理行使)、および第19条 (理事会) に、書面決議を可能とすることを変更しました。

第4号議案 理事選任の件

理事候補者2名を推薦し、全員異議なく承認されました。
第5号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件
退任役員に対し、当金庫役員退職金規定に基づき、贈呈することとしました。

2. 主たる登記事項

令和4年4月4日、出資の総口数 (33,851,973口) および出資総額 (1,692,598,650円) の変更を登記しました。

事業の概要

第105期は、新中期経営計画の2年目となり、「①コンサルティング機能の発揮」「②強固な経営基盤の確立」「③顧客ニーズに応えるための人材育成」の3つを基本戦略のもと、目指すべき姿の実現に向けて様々な重点施策に取り組みました。

また、「コロナ関連融資による資金繰り支援」、「経営改善や事業再構築の提案など事業者さまに寄り添った支援」の展開に注力しました。SDGsやDXなど多様化するニーズに応えるために新商品の取扱いを開始するなど「伴走支援の深化と強化」にも取り組みました。

当金庫を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続きましたが、創業の精神である「地元との共存共栄」に徹し、役職員一丸となって業務に取り組んだ結果、以下の業績となりました。

(預金・貸出金)

預金の期末残高は、前期比111億円(2.1%)増加し5,236億円となりました。貸出金の期末残高は、前期比57億円(2.7%)増加し2,174億円となり、2,100億円台を維持しました。

(為替)

内国為替取扱件数は前期比52,995件(2.8%)増加し1,939千件となり、総取扱高は前期比522億円(5.0%)増加し10,886億円となりました。

外国為替につきましては、総取扱件数が前期比45件(2.0%)増加し2,213件となり、総取扱高は前期から10百万ドル(11.4%)増加し97百万ドルとなりました。

(有価証券)

有価証券の期末残高は、前期比46億円(3.0%)減少し1,464億円となりました。安全性や、収益性を重視して公共債中心の運用を行っておりますが、主に国内金利が上昇した影響により債券の時価が下落しました。これにより有価証券の評価差額は、その他有価証券が△3,963百万円、満期保有目的の債券が1,145百万円となりました。債券の特性により、今後それぞれの債券が満期に近づくとつれて評価差額は解消に向かいます。

(損益状況)

経常収益は、前期比57百万円増加し6,384百万円となりました。主要収益である貸出金利息は、コロナ関連融資への取り組みを継続したことなどから、残高は増加したものの利回りが低下し、前期比でわずかに減少しました。余資運用面では、不確実性の高まる市場環境においてリスク抑制に徹した運用を行ったことから収益が減少した一方、不良債権の回収などへの取り組みによりその他の経常収益は増加しました。

経常費用は、人件費・物件費など引続き削減に努めたことを主に、前期比154百万円減少し5,072百万円となりました。これらの結果、経常利益は前期比211百万円増加し1,311百万円となりました。

特別利益、特別損失を加減算した税引前当期純利益は1,308百万円となり、これに法人税等調整額139百万円を含む法人税等合計を計上した当期純利益は、前期比で118百万円増加し1,161百万円となりました。

(店舗等)

当金庫では、店舗の効率的な配置を掲げ、店舗体制を23店舗から21店舗に移行しました。また、LED化を進めるなど、店舗内外の環境整備に取り組み、これからもお客さまへのサービス向上に努めてまいります。

なお、店外出張所(ATM)についても、設備の状況や利用状況に応じて見直しを行っています。

1年間の取り組み

令和4年

4月	新入職員9名入庫 公益財団法人しんきん育英会奨学生採用者累計200名突破!
5月	「こうしん補助金・助成金相談会」2日間開催
6月	第28回がんばれ!ヴァンフォーレ甲府定期預金販売開始 甲府信用金庫スペシャルマッチを開催しヴァンフォーレ甲府へ強化資金100万円を贈呈 「信用金庫の日」に清掃活動・献血・電話詐欺被害防止の注意喚起を実施
9月	山梨南支店を加納岩支店へ統合・藤井支店を韮崎支店へ統合・国母支店を西支店へ店舗内移転し、23店舗から21店舗へ集約 山梨県と「YAMANASHI×SDGs チーム」の推進に向けた連携・協力にかかる協定書を締結し、「やまなしSDGs プラットフォーム」に参画
10月	「風の6番隊」三枝勘解由左衛門尉昌貞隊として信玄公祭り出陣 出資証券のペーパーレス化導入
11月	祝 第102回天皇杯優勝記念 第29回がんばれ!ヴァンフォーレ甲府定期預金販売 「こうしん相続・事業承継相談会」2日間開催 甲府信金経営者の会若手部会「サテライトゼミ」開催
12月	「広域連携による地域発展に貢献するパートナーシップ協定書」ふじのくにアライアンス締結
1月	「東京海上日動火災保険(株)・(株)グローバルキャストと3者間でSDGs普及に関する包括連携協定書」締結
2月	しんきん中部横断道コネクテ個別商談会開催
3月	「こうしんSDGs応援パッケージ」販売開始

トピックス

令和4年10月29日

信玄公祭り「風の6番隊」三枝勘解由左衛門尉昌貞隊として出陣



令和4年11月14日

ヴァンフォーレ甲府の天皇杯優勝を祝い、祝! 第102回天皇杯優勝記念「第29回がんばれ!ヴァンフォーレ甲府定期預金」を販売しました。

令和4年12月1日

「やまなしSDGs推進企業登録証」取得



令和4年12月14日

「広域連携による地域発展に貢献するパートナーシップ協定書」ふじのくにアライアンス締結

貸借対照表

第105期 令和5年3月31日現在

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	4,358	預金積金	523,622
預け金	182,347	当座預金	8,535
買入金銭債権	640	普通預金	242,366
有価証券	146,432	貯蓄預金	1,015
国債	22,835	通知預金	1,403
地方債	22,573	定期預金	242,766
社債	85,883	定期積金	9,896
株式	17	その他の預金	17,639
その他の証券	15,123	借入金	5,866
貸出金	217,471	借入金	5,866
割引手形	590	その他負債	1,440
手形貸付	16,605	未決済為替借	183
証書貸付	190,100	未払費用	504
当座貸越	10,175	給付補填備金	1
外国為替	437	未払法人税等	6
外国他店預け	437	前受収益	133
その他資産	2,642	払戻未済金	35
未決済為替貸	109	払戻未済持分	0
信金中金出資金	1,961	職員預り金	210
未収収益	456	金融派生商品	2
金融派生商品	17	リース債務	14
その他の資産	98	資産除去債務	253
有形固定資産	5,293	その他の負債	94
建物	3,873	賞与引当金	116
土地	1,235	役員退職慰勞引当金	158
リース資産	13	睡眠預金払戻損失引当金	5
その他の有形固定資産	171	偶発損失引当金	203
無形固定資産	100	債務保証	517
ソフトウェア	57	負債の部合計	531,932
その他の無形固定資産	42	(純資産の部)	
前払年金費用	575	出資金	1,656
繰延税金資産	90	普通出資金	1,656
債務保証見返	517	利益剰余金	27,329
貸倒引当金	△ 4,021	利益準備金	1,849
(うち個別貸倒引当金)	(△ 3,107)	その他利益剰余金	25,480
資産の部合計	556,888	特別積立金	24,130
		当期末処分剰余金	1,350
		処分未済持分	△ 68
		会員勘定合計	28,918
		その他有価証券評価差額金	△ 3,963
		評価・換算差額等合計	△ 3,963
		純資産の部合計	24,955
		負債及び純資産の部合計	556,888

損益計算書

第105期 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：千円)

科目	金額	金額
経常収益		6,384,293
資金運用収益	5,260,675	
貸出金利息	3,634,049	
預け金利息	258,356	
有価証券利息配当金	1,294,079	
その他の受入利息	74,189	
役員取引等収益	596,759	
受入為替手数料	293,194	
その他の役員収益	303,565	
その他業務収益	297,239	
外国為替売却益	37,060	
国債等債券売却益	245,785	
国債等債券償還益	196	
その他の業務収益	14,197	
その他経常収益	229,619	
償却債権取立益	83,537	
その他の経常収益	146,082	
経常費用		5,072,808
資金調達費用	125,774	
預金利息	122,905	
給付補填備金繰入額	778	
借入金利息	1,029	
その他の支払利息	1,060	
役員取引等費用	569,680	
支払為替手数料	86,325	
その他の役員費用	483,355	
その他業務費用	177,533	
国債等債券売却損	171,072	
国債等債券償還損	4,928	
その他の業務費用	1,533	
経常費用	3,643,743	
人件費	2,334,046	
物件費	1,188,789	
税金	120,907	
その他経常費用	556,075	
貸倒引当金繰入額	530,398	
貸出金償却	16,033	
その他の経常費用	9,643	
経常利益		1,311,485
特別利益		-
特別損失		2,994
固定資産処分損	2,994	
税引前当期純利益		1,308,491
法人税、住民税及び事業税	7,505	
法人税等調整額	139,438	
法人税等合計		146,944
当期純利益		1,161,547
繰越金(当期首残高)		188,486
当期末処分剰余金		1,350,033

第105期 剰余金処分

(単位: 円)

当期末処分剰余金	1,350,033,391
----------	---------------

これを下記のように処分いたします。

剰余金処分数額	1,131,874,000
普通出資に対する配当金(年2%)	31,874,000
特別積立金	1,100,000,000
繰越金(当期末残高)	218,159,391

以上のとおりであります。

令和5年6月

甲府信用金庫

理事長 小田切 繁
 専務理事 竹居 正人
 常務理事 岩下 浩 ※
 常勤理事 小尾 好彦
 常勤理事 岩下 浩 ※
 常勤理事 山下 洋一
 常勤理事 深澤 大
 理事 三森 中
 理事 吉澤 宏治
 理事 上田 文彦

(注) ※の2名の岩下 浩は、同姓同名の者となります。

上記の各項を監査した結果、すべて法令および定款に従い、正確であることを認めます。

令和5年6月1日

常勤監事 秋山 克人
 監事 平出 亘
 監事 久保嶋 仁

(注) 監事平出亘、久保嶋仁は信用金庫法第32条第5号に規定する員外監事です。

令和4年度の貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分は、信用金庫法第38条の2の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

地区別総代一覧

総代の任期は3年で、定数は100人以上130人以内です。当金庫では、総代選任のために当金庫の営業地区を7地区の選任区域に分け、会員数に応じて各選任区域ごとに総代定数を定めております。

なお、令和5年3月31日現在の会員数は33,732人で、総代数は110人となっております。地区別の総代は、下記の皆さまに就任いただいております。

任期：令和4年3月30日から
令和7年3月29日まで

令和5年3月31日現在

甲府北地区 定数9名	長田 良一 滝田 雅彦 西中山 実	数野 三郎 丹沢 良二	輿水 隆司 内藤 博文	坂本 政彦 中込 徹
甲府 中央地区 定数10名	芦沢 俊行 岡 裕保 戸田 克己	雨宮 俊彦 金井 一憲 山本 武一	飯野 正久 近藤 栄一	藤石 友 社長 向山孝明 清水 栄一
甲府南地区 定数24名	浅川 有人 河阪 敏明 鈴木 政孝 中村 貞明 望月 和彦 山口 泰	上野 茂樹 山光 石油 副 社長 望月真一 大新 工業 副 会長 大村克基	荻野 寛二 清水 孝弘 露口 直彦 堀内 利彦 望月 尚 横内 応佳	カワサキ 藤 社長 川崎 真示 末木 重三 中込 武文 南宮 田倉 庫 社長 望月郁子 よっちゃん食品工業 副 社長 金井芳朗
峡北地区 定数14名	秋山加代子 小野 雅子 深澤 哲郎 山寺英一郎	入江 薫 小宮山浩之 藤森 正司 山本 修	岩下 達也 仲山 一仁 船木 上次	内田 安雄 平賀 義洋 丸山 孝佳
峡東地区 定数25名	芦澤 一男 植野 正人 新谷 一男 鶴田 俊仁 保坂 一仁 三科 浩司	綱倉 義久 大村 洋 鈴木 貴文 土橋 千昭 堀内 実 向山 秀男	雨宮 清 甲斐 食産 副 社長 小川学 地場亜紀子 根津 寿一 松坂 浩志 村田 政仁	池田 善一 佐野 強 辻 真由美 原田 孝典 松土 雪子 矢野 潔
峡中地区 定数26名	天野 晴夫 藤甲 斐電 設 会長 角田真三 河村二四夫 代田 一郎 中澤 宏幸 福沢 敏治 米山 正仁	井口 和則 片山 卓見 三枝 幹弥 田邊 文子 野中 完 藤 精機 副 社長 新藤淳 藤 渡辺 商店 会長 渡邊一	大島 和雄 川口 弘之 櫻本真由美 中央物産 副 会長 保坂吉彦 初鹿野玉和 初鹿野玉和 松尾和子	小田切まき江 川手 一弘 藤サンシン精工 社長 土橋信廣 寺田 道彦 原田 哲 三宅 勝志
峡南地区 定数2名	石澤啓一郎	依田 理愛		

(注) 法人名で記載のある総代は法人総代です。(五十音順・敬称略)

店舗のご案内

本店営業部	甲府市丸の内2丁目	☎055 (222) 3322
湯村支店	甲府市湯村3丁目	055 (253) 1528
緑町支店	甲府市若松町	055 (233) 0148
南支店	甲府市住吉1丁目	055 (235) 1271
西支店	甲府市德行2丁目	055 (226) 3024
国母支店 (西支店内)	甲府市德行2丁目	055 (226) 4422
東支店	甲府市和戸町	055 (237) 6831
朝気支店	甲府市朝気1丁目	055 (237) 3511
大里支店	甲府市大里町	055 (241) 3521
塩山支店	甲州市塩山上於曾	0553 (33) 3233
加納岩支店	山梨市上神内川	0553 (22) 2331
韮崎支店	韮崎市本町1丁目	0551 (22) 1535
長坂支店	北杜市長坂町	0551 (32) 3235
櫛形支店	南アルプス市小笠原	055 (282) 6311
白根支店	南アルプス市在家塚	055 (283) 8339
昭和支店	中巨摩郡昭和町	055 (288) 0900
田富支店	中央市山之神	055 (273) 2611
玉穂支店	中央市若宮	055 (274) 3100
甲斐支店	甲斐市大下条	055 (277) 5831
竜王南支店	甲斐市西八幡	055 (279) 2171
石和支店	笛吹市石和町	055 (263) 9393

ローンコミュニティ昭和(昭和支店内) ☎055 (288) 0031

店外キャッシュコーナー 店舗名一覧

● 甲府駅前出張所 北出張所	● パークス敷島店出張所 ● 響が丘出張所
● オギノ上今井店出張所	一宮出張所
● フレスポ甲府東出張所	ツルハ笛吹出張所
● オギノイーストモール出張所	● イオン石和店出張所
● オギノ甲州店出張所	● 大泉出張所
● オギノ山梨ショッピングセンター出張所	● きららシティ出張所
● イッツモア山梨店出張所	● *イトーヨーカドー甲府昭和店出張所
● ラザウオーク甲斐双葉出張所	● *イオンモール甲府昭和出張所
● オギノ峡西出張所	● *フォレストモール甲斐竜王出張所
増穂出張所	● 国母出張所
● オギノ八田店出張所	藤井出張所
● パークス出張所	

● ATMは日曜・祝日も稼働

* 山梨信金が主幹事の共同設置 ATMのため当金庫の通帳繰越手続きはできません。



甲府信用金庫

山梨県甲府市丸の内2丁目33番1号
TEL 055 (222) 0231



甲府しんきんホームページ <https://www.kofushinkin.co.jp>
 お客さま相談窓口 フリーダイヤル 0120-512-038
 お客さま意見・要望窓口 フリーダイヤル 0120-115-240



この製品は、適切に管理されたFSC® 認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。